

ドッジビー

プログラムの概要・ねらい

ドッジビーとは、柔らかくて軽いナイロン・ウレタン素材でできたフライングディスクである。よく飛び、安全で、ぶつかってもあまり痛くない。力がなくても簡単に飛ばせるので、安心して思いっきり遊ぶことができる。

| | | | | |
|----|--------------------|--------------------|-------------|-----------------|
| 場所 | プレイホール (半面での貸出) | 3 すべての人に健康と福祉をみんなに | 4 良い教育をみんなに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 時間 | | | | |
| 値段 | 無料 | | | |
| 季節 | 年間 | 人数 | 30人程度 | |

準備物

【利用者】体育館履き、活動に適した服装
救急用品など

【自然の家】ドッジビー（1セット2個）

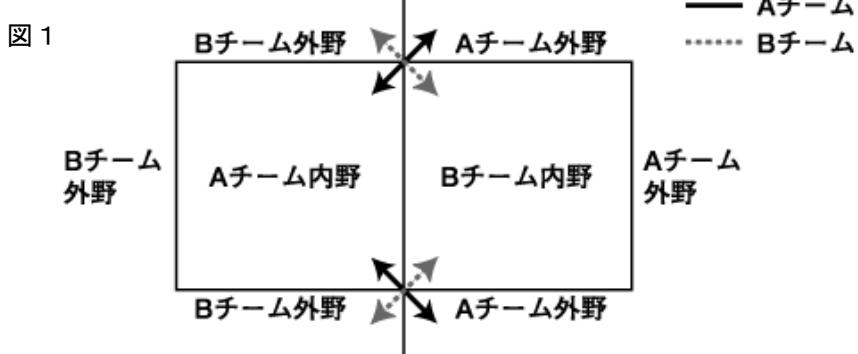
①準備

コートとして利用するラインを確認しておく。
サービスセンター受付でプレイホールの倉庫の鍵と道具を受け取る。

②実施の流れ

●公式ルール（JFDA）からの抜粋と簡単な説明

- ・ プレイホール半面で1コート使用。
- ・ 図1のように、コートをセンターラインで2分割する。
- ・ 内野：コートの内側がそれぞれの内野
- ・ 外野：相手の内野を囲む3方向のラインの外側がすべて外野
※3方向、どこからでも投げることができる。
- ・ 通常ドッジビーは13人対13人で対戦するが、人数に応じて増減可能



● ルールはドッジボールとほぼ同じ、必要に応じて以下を補足説明する。

- (1) 体のどの部分にディスクが当たってもアウトとなる。ただし、顔を狙うのは禁止。
- (2) 外野プレーヤーが、相手の内野プレーヤーをアウトにした場合は、すぐに内野に入る。
(後から入ることはできない。)
- (3) 地面を転がったり滑ったりしているディスクは、完全に自陣コートに入り込んだ時、取ることができる。
(まだ相手コート内にあるディスクを、手や足を伸ばして取ることはできない。)
ただし空中にあるディスクはラインを踏まない限り、取ることができる。

（JFDA：NPO法人 日本フライングディスク協会）

③後片付け

備え付けの掃除用具で、プレイホールの床をモップがけする。
サービスセンター受付に、プレイホールの倉庫の鍵と道具を返却する。
器具や用具に破損や故障があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。